がんセンタープログラム

【研修目標、到達目標】

がんセンターでの研修目標は、“がん診療専門医”の育成であり、初期研修ではがん診療の基礎を幅広く経験し、がん診療に必要な知識・技能・治療法・安全管理などを習得することにあります。研修プログラムの到達目標は、がん診療関連の専門医資格の取得であり、各領域（臓器）別専門医取得の支援も行います。また、本学大学院「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・がん薬物療法研究者養成コース」の大学院生は、専門医資格の取得とともに学位研究の完遂・論文作成の両者が到達目標になります。

【レジデントA(卒後３年目)カリキュラム】

指導医とともに当センター外来化学療法室での診療を通じて、悪性腫瘍に対する基本的な知識と診断および治療手技を習得し、多職種間で構成されるチーム医療の理念を理解します。

【レジデントA（卒後３年目）の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、放射線科、ＩＣＵ、感染制御部、リハビリテーション部のいずれかで、希望により３ヶ月間研修を行うことができます。

【レジデントB(卒後４年目)カリキュラム】

４年目には、各臓器がんの知識を深めるため、悪性腫瘍を数多く取り扱う消化器・肝胆膵・呼吸器・乳腺・血液・放射線・疼痛緩和などの各診療科をローテートし、各臓器がんの特徴的な治療技能の知識を得ます。また、学会発表や論文執筆を積極的に経験していきます。

【レジデントC(卒後５年目)カリキュラム】

５年目は、これまで経験した症例を基にして、がん薬物療法専門医取得に向けた準備を整えます。さらに、腫瘍内科医として自らが立案し、個々のがん患者に最適の個別化治療を実践できることを目標に研鑽を重ねていきます。さらに、臨床試験や治験などの分担医師となり、エビデンスを構築していく経験を積んでいきます。

【カンファレンス、症例検討会等】

月：PM 4:30～　外来化学療法室カンファレンス：医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー
火：PM 5:30～　乳腺腫瘍評議会（キャンサーボード）：乳腺外科・放射線科・病理合同症例検討会
火：PM 6:00～　呼吸器腫瘍評議会（キャンサーボード）：呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理・合同症例検討会
木：AM 8:20～　放射線治療症例検討会：医師
外来化学療法勉強会（月１回）：医師・看護師・薬剤師
がんセンター講演会（年４回）：医師(近隣医療機関を含む)・看護師・薬剤師

さらに、緩和医療評議会を含む各臓器別腫瘍評議会へ参加し、各がん腫における最新の診断技術や治療法について学習できます。

【その他関係学会の内容等】

学会関連の資格に関しては、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、がん治療認定医機構認定医を取得することが可能になります。

【指導医】

センター長・主任教授：中野　孝司

准教授(専任)：田端　千春

助教(専任)：今村　美智子

【研修統括者】

准教授(専任)：田端　千春

【問い合わせ先】

兵庫医科大学　がんセンター（８号館４階）

田端千春（たばたちはる）

TEL：0798-45-6061（内線 6061）

FAX：0798-45-6217

E-mail：ctabata@hyo-med.ac.jp